

# 千葉職対連ニュース

発行 千葉労災職業病対策連絡会

〒262-0032 千葉市花見川区幕張町 4-524-2

千葉民医連事務センタービル 2F

TEL/FAX 043-273-9199

E-mail : chiba\_syokutairen@ybb.ne.jp

HP : <https://chiba-syokutairen.org/>

## 千葉職対連の新しいホームページを開設

HP : <https://chiba-syokutairen.org/>

インターネットホームページ（HP）について、長い間ご不便をお掛けしました事をお詫び致します。ようやく新しいHPを開設しましたので、是非ご覧ください。尚、アドレス入

力でなく、「千葉職対連」で検索した場合には、削除できないでいる旧HPも検索結果に表示されます。紛らわしい状況ですがご了承ください。



### 「明治維新」と「日本破滅」との関係 (その4)

明治維新は「理想的な世直し」ではありませんでした。そうではなく世の中の秩序を破壊する「権力の私物化」があったとしか考えられないのです。私のこの推定を裏付ける情報を史書から引用します。幕末の政治状況について、司馬氏は次のように言い当てています。

「幕末ぎりぎりの段階での薩長というのは、ほとんど暴力（\*6）であった。会津をはじめとする東北諸藩にこれでもかと破壊や殺戮を行った。薩長は政敵を倒すばかりに力をつかい、明治新政府には国家の青写真はなかった」と司馬氏は指摘しています。

\*6 : 「ほとんど暴力」

権力を奪取しようとする薩長の攘夷運動は「テロ活動」と共に天皇に対する「朝廷工作」を絡めました。「血なまぐさいテロ活動」と共に公家を脅かし「謀略的な朝廷工作」を進めたのですが、そこには薩長側の尊王攘夷は、口先だけであり倒幕の口実に天皇を利用するという私物化を進めただけでした。「フットボール」ではありませんが、「天皇を玉扱いして、敵側にはこの玉を絶対に渡してはならない」と強調した木戸孝允の発言は『大久保利通日記』にあります。長州藩の桂小五郎（のち木戸孝允。木戸は大久保、西郷と並び維新3傑と呼ばれた）の言葉が漢文書面で残っています。「天皇に仕えるべき公家」を、天皇を差し置き、

思いのまま動かして薩長側は「偽勅発行」などの恐れを知らない謀略（\*）を繰り返しました。中には「孝明天皇毒殺と疑われる」事件までありましたが、もしその歴史を明らかにする薩長側の立場を一気に危険にさらすことになり歴史を修正したのです。

\* 「謀略」

「八月十八日の政変、池田屋事件、禁門の変」などの三つの歴史には長州藩激派が深く絡みました。「京都の治安を破壊しその機に乗じて幕府を倒そう」とした歴史は孝明天皇の激しい怒りを呼びました。「長州藩の京都入り禁止」、「長州藩主父子の官位はく奪」、「長州藩激派に加担した「三条実美ら公卿七人の官位はく奪」と厳しいものでした。この結果長州征伐の勅命が出されました。孝明天皇は「八月十八日の政変」までの勅令はほとんど偽勅である」と宣言しています。事件を収め功を挙げた京都守護職・会津藩松平容保は天皇から感謝状を下賜されました。長州激派の謀略は歴史上有耶無耶になりましたが、後になってこの宸翰の存在が明らかになると、政府高官の責任を問われる事態が生じました。

明治政府成立まで「新しい国家の在り方」を主張した先進的な思想家・赤松小三郎ら「一流の人物」は次々と消されていくばかりか、歴史からも抹殺され現在でもほとんど（裏面へつづく）

知られていません。あとに残ったのは「二流以下」ということになりませんが彼らが新政府を担ったから前述した汚職事件だけではなく、その他「学制、地租、徴兵」などでも問題が噴出しました。

半藤氏は当時の情勢を簡単にまとめています。「・・・一方、幕臣の勝海舟、大久保一翁や福井藩の政治指南役・横井小楠らは激変する国際情勢を視野にいれて新しい国の形はどうあるべきかを考えていた。横井小楠（暗殺された）は早くから新しい国家論を提言しており勝はその考えに理解をしめしていた」。「明治維新はあとから名前をつけたけど暴力革命でしかなかった。その暴力運動の名残が明治10年の西南の役までつづいたというわけです。西南戦争で西郷隆盛が亡くなった後、内務卿の大久保利通もすぐ暗殺されてしまい、新国家のグランドデザインを描き実行できる政治力を併せ持つ人物がいなくなってしまった。かれらの後を継ぐのは長州出身の伊藤博文と山県有朋。伊藤が民政・外交を主に担い、山県が陸

軍を主導していくことになる。残念ながらこの二人は西郷と大久保と比べてだかだか格が落ちる。世界情勢を見ながら国民国家をつくるはずだが、結局は近代というものの狭くとらえた軍事国家しか作れなかったのではないか」。

さらに半藤氏は続けます。

「西南戦争では多くの戦傷病者をだし、国家予算に匹敵する膨大な軍費を使い、超インフレを呼び、そのあとの緊縮財政で一気にデフレにふれてしまった。その経済の大混乱の中で、多くの農民が農地を売らざるを得なくなり農村の殆どは一部の大地主と大部分の零作小作農民という構図になりました。都市には貧民が流入しスラムがうまれます。極端な格差社会の出現です。日清戦争で巨額の賠償金を得るまで一息つけるヒマさえなかったのです」。(半藤氏著「歴史に何を学ぶか」より引用)

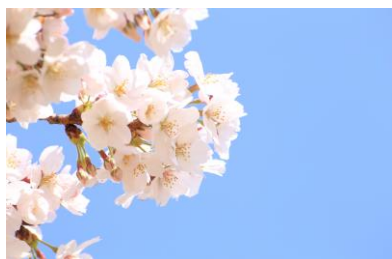
(次号へつづく)

## 当面の取組日程

千葉職対連事務局

2019年

2・20(水)	千葉職対連常任幹事会	17:30~	千葉民医連事務センター
23(土)	労災職業病なんでも相談会	13:00~	千葉市中央コミュニティセンター
3・2(土)	メンタル・労災センター事例検討会	14:00~	中央大学駿河台記念館
6(水)	いの健千葉常任理事会	18:15~	自治体福祉センター
8(金)	習志野学院損害賠償裁判	16:00~	千葉地裁 423 号法廷
9(土)	千葉県弁護士会憲法集会	13:30~	千葉県弁護士会館 3F
20(水)	千葉職対連常任幹事会	17:30~	千葉民医連事務センター
30(土)	労災職業病なんでも相談会	13:00~	船橋市勤労市民センター
4・3(水)	いの健千葉常任理事会	18:15~	自治体福祉センター
17(水)	千葉職対連常任幹事会	17:30~	千葉民医連事務センター
20(土)	労災職業病なんでも相談会	13:00~	千葉市中央コミュニティセンター
5・8(水)	いの健千葉常任理事会	18:15~	自治体福祉センター
15(水)	千葉職対連常任幹事会	17:30~	千葉民医連事務センター
19(日)	いの健千葉総会	13:30~	船橋市勤労市民センター
25(土)	労災職業病なんでも相談会	13:00~	船橋市勤労市民センター



### 花見予告

3月下旬から4月上旬の土、日に恒例の花見を予定しています。日程は3月号ニュースでお知らせします。